

卓越した技術力と専門性で
エネルギーと環境の未来を創造する。

TCC × SDGs Report 2025

— 2025年度SDGs報告書 —



地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

目次

◆本レポートについて・これまでの主な歩み	2
◆SDGsキャラバンの実施 ◆屋上ビオトープ運営	3
◆SDGs AICHI EXPO2025に出展	4
◆藻場造成支援によるブルーカーボンの推進 ◆自然共生サイト認定コンサルの実施	5
◆省エネルギー設備の導入によるCO ₂ 排出量削減 ◆環境配慮型車両への更新	6
◆TCC×SDGsパートナーシップ協定	7
◆愛・地球博リレーシンポジウムへの参加 ◆福地そばの会へのクリンカアッシュ提供	8
◆SDGs交流会を開催	9
◆SDGs経営と持続的な発展に向けて	10

本レポートについて

SDGsは持続可能な社会を実現するための世界共通の課題・目標であり、この達成に貢献することが当社自らの持続的な成長に繋がると考えています。

本レポートは、当社の2025年度のSDGsへの取り組みを紹介するものであり、本レポートを通じて、SDGsの達成に貢献する方々とのパートナーシップのきっかけになれば幸いです。

これまでの主な歩み

2019年度

- 6月 SDGsの全社展開スタート
- 7月 TCC×SDGsプロジェクト開始
- 9月 2019年度SDGsカンファレンス開催

2020年度

- 10月 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム(内閣府)へ参加
- 1月 JAPAN SDGs Action Platform(外務省)へ参加
- 2月 TCC×SDGsパートナーシップ協定運用開始
- 3月 SDGs AICHI EXPO 2020 オンライン開催へ出展(以降毎年出展)

2021年度

- 6月 TCC×SDGsパートナーシップ協定 第1号締結
- 6月 SDGs de 地方創生公認ファシリテーター2名養成

2022年度

- 5月 新たなトップコミットメントを宣言

2023年度

- 10月 DMM Agri Innovation様と「獣害対策事業に関する業務提携契約書」を締結
- 1月 TCC×SDGsパートナーシップ協定 10社達成

2024年度

- 6月 当社Instagram開設
- 11月 ㈱東海維持管理工業様でのSDGs de 地方創生カードゲーム開催支援
- 2月 日本樹木医会長野県支部研修会での環境DNA講演開催
- 2月 水と流域・地球市民フォーラム in Tokyo 2025でポスター発表

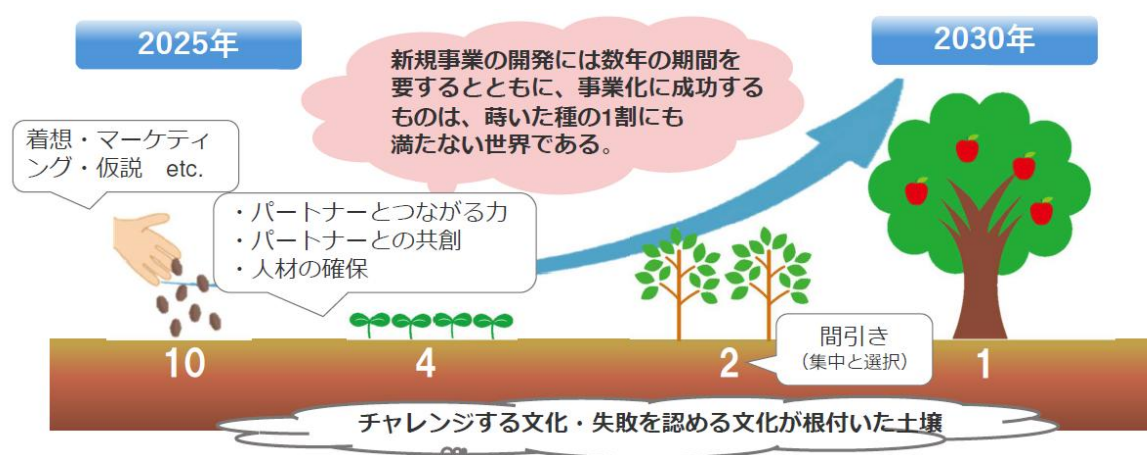
2025年度

- 4月 愛・地球博リレーシンポジウムへの参加
- 5月 SDGsキャラバンの実施
- 7月 福地そばの会へのクリンカアッシュ提供
- 10月 SDGs AICHI EXPO2025に出展
- 12月 SDGs交流会を開催

SDGsキャラバンの実施

当社は、今年度より、本業と一体化したSDGs活動を開始し、各部署のアクションプラン（業務運営計画）に基づき着実な推進を図っています。一方、同プランでは把握・確認が難しい事項については、5月～7月に、事務局（企画部）が各部署との意見交換を行う「SDGsキャラバン」を実施しました。各部署の活動における社会課題との関係性、優先度、発展性、チャレンジ性等の観点から整理を行い、各部署が責任をもって推進する取組と、全社重点テーマとして取り組むべきものを峻別しました。

組織一体となったSDGs活動の推進と、持続的な価値創出や新たな取組の展開に取り組んでいます。



屋上ビオトープ運営

屋上ビオトープにおける継続的な環境保全活動の一環として、管理作業を実施しました。10月は、稲刈り作業を行い、これまで育成してきた稲の収穫を実施しました。

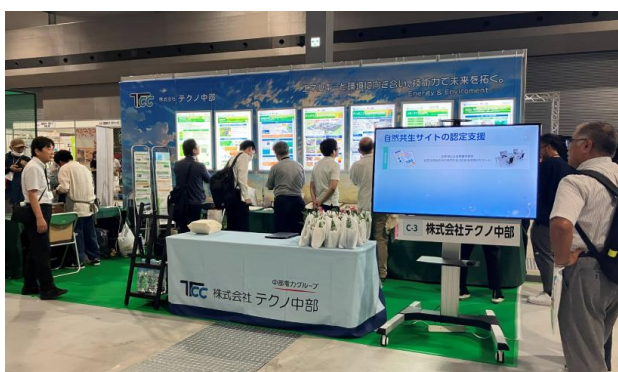
本活動は「みんなの屋上ビオトープ」の実現を目指し、環境事業本部を主体に、各部署から参加者を募り、部門横断的な取組みとして毎月実施しています。

当社の屋上ビオトープは、環境省の自然共生サイトに認定されており、生物多様性保全に貢献しています（P5参照）。屋上ビオトープ運営を通じて、部門を超えたコミュニケーションの活性化や、環境保全に対する意識向上が図っています。また、屋上ビオトープは、社員が身近に自然と触れ合うことができる場として、職場環境の充実に寄与しています。



SDG s AICHI EXPO 2 0 2 5 に出展

10月3日・4日の2日間、愛知県国際展示場において開催された「SDG s AICHI EXPO 2025～SDG s 子ども・ユースフェア～」に出展しました。当社は「エネルギーと環境に向き合い、技術力で未来を拓く」をテーマに、環境教育プログラムの実演、自然共生サイト認定に関するコンサルティング、土壌・地下水汚染調査に関する業務紹介を行いました。当社ブースでは、中電ウイング様の花苗配布やパートナー企業Equbo様のカカオティー試飲を実施し、2日間で約500名の来場者にお立ち寄りいただきました。また、ワークショップエリアでは自然共生をテーマとした「TCCネイチャーポジティブカードゲーム」を開催し、多くの学生・生徒にご参加いただきました。



藻場造成支援によるブルーカーボンの推進

当社は、海洋生態系によるCO₂吸収効果（ブルーカーボン）の活用を通じて、脱炭素社会の実現と生物多様性の保全に貢献することを目的に、浜岡原子力発電所周辺海域での藻場や磯根資源の回復のための調査を実施しています。

2025年度は、ダイバーおよび水中ドローンを活用した調査手法の検証を行うとともに、高温に耐性のある海藻を用いた育成調査を開始しました。

また、ブルーカーボンクレジットの創出に向け、関係団体に対して位置情報の取得など調査業務を提案しました。

今後も調査を継続し、海洋環境の保全とカーボンニュートラル推進に貢献していきます。



種苗移植



海岸に打ちあがるカジメ



回復したカジメ藻場

出典：ジャパンプルーエコノミー技術研究組合サイト
<https://www.blueeconomy.jp/archives/2023-2-jbc-register/#13>

自然共生サイト認定コンサルの実施

当社は、生物多様性の保全とネイチャーポジティブの実現に向け、自然共生サイト認定に関するコンサルティング業務を推進しています。

2025年度は、自然共生サイト関連コンサルを3件実施し、企業や団体による自然環境保全・再生の取り組みや認定取得を支援しました。

また、当社本店屋上ビオトープは環境省の「自然共生サイト」に認定されており、自らも都市部における生きものの生息環境の保全・創出を実践しています。

今後も、自然共生社会の実現と生物多様性の保全に貢献してまいります。



当社本店屋上ビオトープ

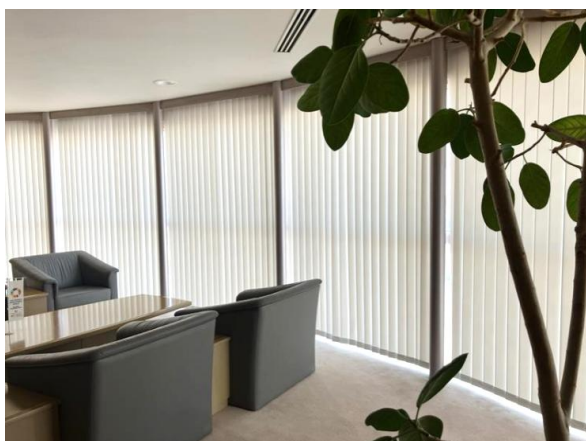
省エネルギー設備の導入によるCO₂排出量削減

当社では、自社のCO₂排出量削減に向け、省エネルギー設備の導入を推進しています。

2025年度は、本店の役員室および応接室に遮熱ブラインドを導入するとともに、空調設備の更新を進めることで、空調負荷の低減と電力使用量の削減に取り組みました。

これらの取り組みを通じて、エネルギー使用量の削減とCO₂排出量の低減を図り、環境負荷の低減に取り組んでいます。自社施設における省エネルギー化を着実に推進し、脱炭素社会の実現に向けた実践的な取り組みを進めています。

今後も、省エネルギー化を着実に推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



環境配慮型車両への更新

当社では、自社のCO₂排出量削減に向け、環境負荷の低い車両への更新を進めています。

2025年度は、社有車14台を電動車両へ更新し、累計44台の導入を達成しました。車両の更新により、燃料使用量の削減とCO₂排出量の低減を図るとともに、自社の脱炭素化を推進しています。

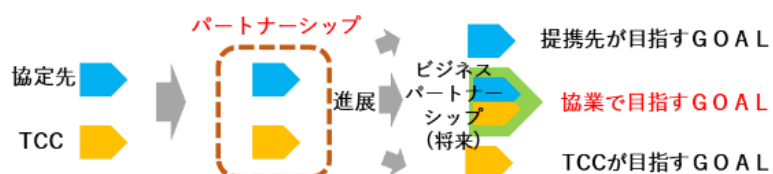
社有車の電動化は環境負荷低減に向けた継続的な取組の一つであり、事業活動を通じた環境配慮の実践にもつながっています。

今後も環境負荷の低い車両への更新を進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



TCC×SDGsパートナーシップ協定

SDGsにおいては、官民をはじめ、学校、NGO・NPO、企業等多様なパートナーと連携することが推奨されています。本協定の取組みは、協定先の企業・団体等およびそれらで構成するネットワークにおいて、SDGsの取組みを相互に支援、協力することで、その活動等を発展させていくことをねらっています。



2026年7月時点で、当社は以下に示します15社とパートナーシップ協定を締結しております。今後も引き続き、多様なパートナーとの連携を強化し、社会課題の解決、SDGs達成に貢献してまいります。

協定締結先（敬称略/締結順）	関連ゴール
文吾林造園株式会社（長野県飯田市）	11 持続可能な都市とコミュニティ、15 陸域生態系の保護、17 パートナーシップのための目標
株式会社ダイセキ環境ソリューション（愛知県名古屋市）	11 持続可能な都市とコミュニティ、14 海の豊かさを守ろう、15 陸域生態系の保護、17 パートナーシップのための目標
三光株式会社（鳥取県境港市）	4 質の高い雇用を創出、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産、14 海の豊かさを守ろう、15 陸域生態系の保護、17 パートナーシップのための目標
五大エージェンシー株式会社（愛知県名古屋市）	6 安全な水とトイレを世界中に、8 持続可能な成長を促進、11 持続可能な都市とコミュニティ、15 陸域生態系の保護、17 パートナーシップのための目標
株式会社千代田テクノル（東京都文京区）	7 持続可能なエネルギー
西川コミュニケーションズ株式会社（愛知県名古屋市）	3 健康な生活を、8 持続可能な成長を促進、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸域生態系の保護
マリヤ運輸有限会社／Equbo（エクボ）（愛知県小牧市）	1 平和と公正な社会を、2 質の高い雇用を創出、3 健康な生活を、4 質の高い雇用を創出、6 安全な水とトイレを世界中に、10 公平な社会と経済を、11 持続可能な都市とコミュニティ、15 陸域生態系の保護
株式会社農力向上研究所（愛知県名古屋市）	1 平和と公正な社会を、2 質の高い雇用を創出、3 健康な生活を、8 持続可能な成長を促進、15 陸域生態系の保護
株式会社NEVER（愛知県豊川市）	4 質の高い雇用を創出、8 持続可能な成長を促進
中部大学 国際ESD・SDGsセンター（愛知県春日井市）	4 質の高い雇用を創出、7 持続可能なエネルギー、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸域生態系の保護、17 パートナーシップのための目標
株式会社東海維持管理工業（愛知県名古屋市）	6 安全な水とトイレを世界中に、9 持続可能な産業と革新、11 持続可能な都市とコミュニティ、14 海の豊かさを守ろう
福地そばの会（岐阜県加茂郡）	4 質の高い雇用を創出、11 持続可能な都市とコミュニティ、15 陸域生態系の保護
株式会社クレス名古屋（愛知県名古屋市）	4 質の高い雇用を創出、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産
株式会社ネクスト共栄（静岡県御前崎市）	3 健康な生活を、7 持続可能なエネルギー、8 持続可能な成長を促進、9 持続可能な産業と革新、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナーシップのための目標
グリーンフロント研究所株式会社（愛知県岡崎市）	4 質の高い雇用を創出、11 持続可能な都市とコミュニティ、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸域生態系の保護

愛・地球 リレーシンポジウムへの参加

4月19日、2005年日本国際博覧会（愛・地球博）の20周年記念事業として開催された「愛・地球リレーシンポジウム2025（第1回）」において、環境技術部の遠藤課長が「愛・地球博におけるテクノ中部の取り組み」と題し、発表およびポスターセッションを実施しました。本シンポジウムは、2005年に開催された愛・地球博を振り返り、持続可能な社会の実現に向けた意義を再認識することを目的として開催されたものです。当日は、日本国際博覧会協会へ出向していた当時の経験を踏まえた実践的な内容について紹介が行われ、来場者の関心を集めました。



福地そばの会へのクリンカアッシュ提供

当社は、SDGs パートナースHIP協定を締結している福地そばの会に対し、当社が取り扱うクリンカアッシュ10トンを提供しました。同会は岐阜県加茂郡八百津町において蕎麦の栽培等を行っていますが、休耕田を活用した圃場において水はけが悪く、生育面で課題がありました。この課題への対応として、石炭火力発電所で石炭燃焼時に生成される副産物であり、土壌改良剤として活用されているクリンカアッシュを圃場へ投入し、蕎麦栽培における有効性の検証を進めています。



SDGs交流会を開催

12月15日、当社本店講堂においてSDGs交流会を開催しました。当日は、6社のSDGsパートナーに加え、当社従業員を含む計約80名が会場およびオンラインで参加しました。

交流会では、SDGsパートナーである西川コミュニケーションズ株式会社 人事広報部長 神谷様より、「新領域への挑戦～100年企業の試行錯誤から考える『人と組織』の変化～」と題した特別講演を実施いただき、パーパスを行動へつなぐ取組、挑戦を支える学びの仕組み、心理的安全性を高める環境づくりについて具体的な事例を交えてご紹介いただきました。

後半では「魅力ある職場の実現」をテーマに、各部門の取組発表および神谷様を交えたパネルディスカッションを実施し、部門や立場を超えた意見交換が行われるなど、活発な議論が展開されました。また、休憩時間には、2025年10月に開催した「SDGs AICHI EXPO 2025」の展示内容を再現したデモンストレーションも実施し、当社のSDGs活動への理解を深める機会となりました。

今後もSDGsパートナーとの連携を一層強化し、持続可能な社会の実現に向けた取組を推進していきます。



「SDGs AICHI EXPO 2025」展示再現



パネルディスカッション
テーマ「魅力ある職場の実現」



西川コミュニケーションズ神谷様ご講演
「新領域への挑戦～100年企業の試行錯誤から考える『人と組織』の変化～」

SDGs経営と持続的な発展に向けて

当社ではこれまで、さまざまなSDGs活動を通じて、事業活動そのものが社会課題の解決に貢献するものであるという意識を醸成してまいりました。

2024年度にはSDGs活動と各部署のアクションプラン（業務運営計画）を一本化し、2025年度はその運用を通じてSDGs経営の実践と定着を進めてまいりました。

2026年4月には、「経営ミッション&ビジョン」を制定して中長期ビジョンを発表するとともに、持続可能な成長を促進すべく「SDGs経営の実現に向けた重点項目」を公表いたしました。

【SDGs経営の実現に向けた重点項目】

	優先課題	重点項目	関連するSDGs
エネルギーと環境の技術で未来を切り拓く	1. クリーンエネルギーの安定供給 ・ゼロエミッション社会の実現	1. CO2排出量の削減 ・エネルギー関連事業における貢献 ・他社のCO2排出量削減への貢献 ・自社のCO2排出量の削減	7 再生可能エネルギー、9 産業とインフラの革新、13 気候変動
	2. 自然共生社会の実現	2. 生物多様性に配慮した事業活動	4 質の高い雇用と経済成長、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさも守ろう
	3. 資源循環型社会の実現	3. 廃棄物の有効活用・適正処理への貢献	6 安全な水とトイレの健全な確保、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 消費の持続可能性を高めよう
	4. 未来への挑戦	4. 事業領域の拡大	8 持続可能な成長を創出しよう、9 産業とインフラの革新、17 パートナーシップで目標を達成しよう
魅力ある職場の実現	5. 働きやすい職場づくり	5. エンゲージメントの向上	3 健全な生活とウェルビーイング、5 ジェンダー平等を推進しよう、10 人や国の不平等をなくそう
	6. 成長できる仕組みづくり		4 質の高い雇用と経済成長、8 持続可能な成長を創出しよう、16 公正な裁判と法の支配

SDGsが掲げる2030年の目標達成は、持続可能な社会の実現に向けた重要な節目ですが、その先も社会や企業を取り巻く課題は変化し続けます。

当社は今後も、「エネルギーと環境の技術で未来を切り拓く」「魅力ある職場の実現」を目指し、脱炭素社会への貢献や生物多様性への配慮、資源循環の推進、人材育成などに取り組み、変化し続ける社会課題に柔軟に対応してまいります。

SDGs経営を推進し、社会とともに持続的な発展を目指してまいります。



代表取締役社長
榎原 洋実

公式マスコットキャラクター
「テクチュー」



弊社ホームページ

〒455-8512 愛知県名古屋市港区大江町3番12
TEL : 052-614-7171 (代表)



地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています